

令和4年度 武蔵野市民社会福祉協議会 決算・事業報告

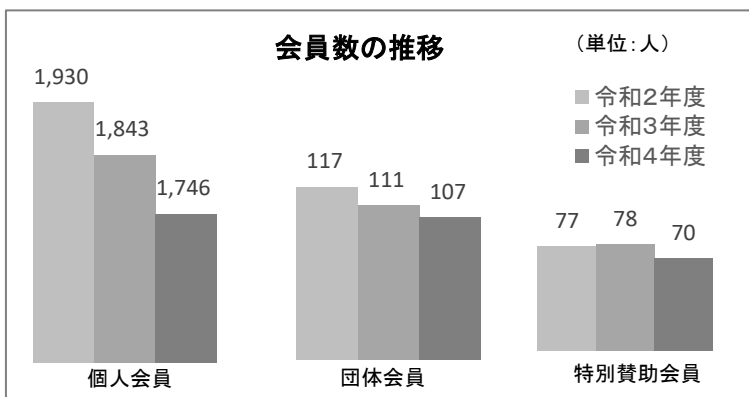
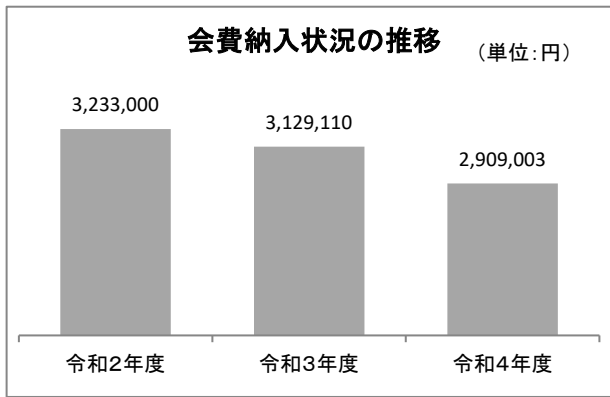
1. 決算状況

(単位:円)

会計種別	当年度収入	前期末支払 資金残高 (前年度繰越金)	収入合計	当年度支出	当年度収支差額	当期末支払 資金残高
社会福祉事業区分	204,331,279	12,972,557	217,303,836	197,398,101	6,933,178	19,905,735
収益事業区分	2,853,880	134,805	2,988,685	2,862,867	△ 8,987	125,818
合計	207,185,159	13,107,362	220,292,521	200,260,968	6,924,191	20,031,553

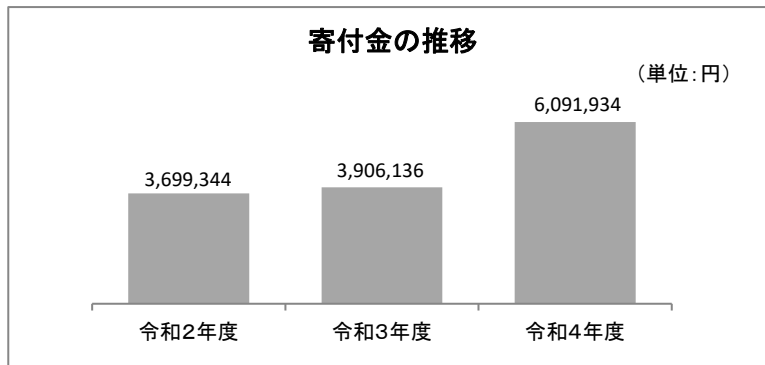
※ただし、当年度収入及び当年度支出額には、事業区分間繰入金収入・繰入金支出、拠点区分間繰入金収入・繰入金支出を含んでいます。

2. 会費納入状況および会員数の推移 (*各年度末)



3. 寄付金収入の金額と推移

寄付種別	件数(件)	金額(円)
一般寄付金	132	2,141,934
指定寄付金	7	3,950,000
合計	139	6,091,934



4. 主な事業の決算

事業名		内容・実績など	支出額(円)
法人運営事業	『市民社協だより ふれあい』発行	年6回(偶数月第1日曜日)発行し、新聞折込等にて配布。印刷部数35,000部。	43,054,643
	『七夕のつどい』開催	毎年7月に行う会員対象の映画会。7月7日(日)に市民文化会館で実施。午前・午後とも『星に語りて～StarrySky～』を上映。	
	福祉学習事業	高齢者福祉事業所有志職員の協力により、小学校3校、中学校1校での高齢者理解を深める学習・疑似体験を実施。	
	広告事業	広報紙「市民社協だより ふれあい」に広告を掲載し、800,000円の広告料収入を得た。	
助成事業	地域福祉活動助成	市内を主たる活動の範囲とする地域福祉活動に対して事業費の助成を行う。歳末たすけあい募金等を財源に10団体に計427,622円を助成。助成団体・助成額は「武蔵野地区配分推せん委員会」による審査を経て決定。その他、「武蔵野地区配分推せん委員会」では、赤い羽根共同募金の配分について、武蔵野市の実情に応じた協議を行った。	2,678,290
	障がい者団体活動助成	市内を主たる活動の範囲とする障がいや病気等の当事者や家族などで構成される団体の活動に対して事業費の助成を行った。歳末たすけあい募金を財源に5団体に計484,000円を助成。	
	身近な地域の居場所づくり助成・支援	地域住民が気軽に集まれる居場所づくり推進のため、地域専任担当職員による立ち上げ支援を行い、5団体に計244,758円の活動費助成を行った。	

事業名		内容・実績など	支出額(円)
地域福祉事業	地域社協への活動費助成	13の地域社協(福祉の会)に活動費を助成。	29,741,333
	地域活動はじめてセミナー	武蔵野市内の地域活動について市民が学び参加するきっかけを作り、新たな地域活動の立ち上げや既存の活動への参加につながるよう、市民向けのセミナーを開催した。参加者延べ22名。	
	地域福祉ファシリテーター養成講座開催	住民の立場から地域での課題や、支援を必要としている人を発見し、具体的な支援活動を企画・実施する住民を養成する連続講座を実施。令和4年度の受講生は2名(修了2名)。	
	ドライブレクリエーション	NPO法人MEWを利用する精神障がいのある方を対象に、個人タクシー協同組合武三支部の協力による日帰りのドライブレクリエーションを実施。MEW利用者17名と付添者(MEW職員)5名を埼玉県飯能市のムーミンバレーパークへ招待。	
	その他の地域福祉事業	所得の少ない世帯に対して高校生教材代、小学校入学祝金を支給。「むさしのジャンボリー再開準備事業」に参加する小学生への参加費支給については対象者なし。	
ボランティア活動推進事業 (ボランティアセンター武蔵野)	ボランティア講座	ボランティア活動のきっかけづくりや活動に必要なスキルを学ぶ入門講座を実施した。「ボランティアオリエンテーション」受講者延べ7名。「つくって・あそんで・ボランティア」受講者延べ20名。「笑顔を届ける！サントボランティア」受講者1名。	15,191,748
	活動支援・きっかけづくり	お父さんお帰りなさいパーティ・おとばサロン、ボランティアキャンペーン『ナツボラ』『ハルボラ』、お仕事サロン等の事業を実施。	
	情報提供	VCM通信(会員向け機関紙)を偶数月に発行(年6回)、ゆうメールにて配布、発行部数2,500部。ホームページの管理・運営。	
	ボランティアコーディネート	ボランティア依頼に対し、登録されている活動会員の中から条件に合う会員に活動依頼を行い、依頼者に紹介した。(依頼件数:90件 紹介:78件)	
歳末たすけあい事業		共同募金の一環として、毎年12月に募金箱の活用及び街頭募金などを中心とした募金活動を実施。集まった募金は、低所得世帯や市内震災避難者への見舞金として支給したほか、地域福祉活動団体の事業費助成や地域社協の活動費等、市内の地域福祉活動の推進に充てられる。募金額は2,481,873円。	379,652
受託事業	受験生チャレンジ支援貸付事業	学習塾代・受験料の貸付、広報媒体による周知を通して、生活に困窮する低所得者・離職者に対し、安定・自立した生活を促すことを目的とした支援を実施。令和4年度は99件の貸付を決定。(※金額は貸付金額ではなく事務費用。貸付金は対象者に東京都社会福祉協議会から直接送金)	5,012,880
	重度心身障害者 理容・美容サービス事業	身体障害者手帳1・2級(下肢・体幹機能障害)、視覚障害1級、愛の手帳1・2度の方。理容・美容サービスに対して年間5回を限度に、一定額を助成。	9,775,216
	外出困難高齢者 訪問理容・美容サービス事業	65歳以上、要介護3～5で、ねたきりまたはそれに準じた状態にあり外出が著しく困難な方に、年間5回の出張理容・美容券を支給。	4,070,700
	移送サービス事業	公共交通機関を利用することが困難な高齢者や障がい者に対し、地域のボランティア(運行協力員)の協力を得て福祉型軽自動車(レモンキャブ)を運行。	38,881,051
	テンミリオンハウス 起業・運営支援事業	テンミリオンハウス運営希望団体や採択された団体に必要なノウハウの提供、相談・助言等の支援を行う。また、すでに運営している団体に対して、事業運営上での必要な助言等の支援。運営マニュアルの作成、連絡調整、広報活動等。	10,751,900
	障害者支援活動事業	手話・点訳などのボランティア育成事業と心のバリアフリー啓発のための出前講座を行い、障がい者への理解を深め、障がい者の自立支援と社会参加の促進を地域全体で支え合うための仕組みづくりを目指した。	7,533,391
	シニア支え合いポイント事業	高齢者の介護予防促進を目的に、65歳以上の市民が行う福祉施設・団体での活動に対し、ポイントを付与し、獲得ポイントに応じた還元を行う。制度利用希望者に向け、説明会兼研修会などを開催した。	3,151,648
	子どもの支援に係る 地域連携強化事業	市内で活動する子ども・コミュニティ食堂や子どもの学習・生活支援事業を行う団体の支援を行う。新規開設や運営支援に関する相談対応、実施団体の連絡会や研修会の開催、実施団体に対する助成を行った。	10,809,413
	生活福祉資金貸付事業	低所得者・障がい者・高齢者世帯等の自立支援を目的とする貸付。令和4年度は37件の貸付を決定。また、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により、一時的または継続的に収入減少した世帯を対象とした生活費の特例貸付を実施。延べ143件の貸付を決定(令和4年9月末に申請受付終了)。(※金額は貸付金額ではなく事務費用。一部貸付金は対象者に東京都社会福祉協議会から送金)	11,791,290
貸付事業	生活資金貸付事業	病気・失職等、不測の事態により緊急に支援を必要とする低所得世帯の方に無利子で生活費を貸付ける。令和4年度の貸付件数は0件。	4,574,946
	入学資金貸付事業	低所得で、高校・大学・専門学校等の入学時の資金に困っている世帯に資金を無利子で貸付ける。令和4年度の貸付件数は0件。	
収益事業	自動販売機運営事業	公共施設等に自動販売機を設置(25台)、手数料収入を得る。その収益は社会福祉事業に充てる。収入額は2,853,880円。	1,112,867